

平成25年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT25060

【プログラム名】「東アジア木造建築（世界遺産）の魅力を探る」



開催日：平成25年7月27日(土)

実施機関：ものづくり大学  
(実施場所) (B1060教室およびB1031ものづくり工房)

実施代表者：白井裕泰  
(所属・職名) (建設学科・教授)

受講生：高校生20名

関連URL：<http://www.iot.ac.jp/cgi-bin/information/detail.cgi?id=308>

【実施内容】

・(プログラムの留意・工夫)

研究代表者の研究成果をパワーポイントを使って分かりやすく説明し、また受講生に自ら活発な活動をさせるために隆徳殿(ベトナム王宮建築、世界遺産)の1/4模型を全員で協力して組立てた。

・(スケジュール)

9:30-10:00 受付(大学本部棟前)

10:00-11:00 開講式、研究成果の説明

11:10-12:10 講義①日本の木造建築について学ぶ。

12:20-13:00 昼食(学生会館で受講生と教員・本学学生・事務局と一緒に食事)

13:00-13:30 研究施設見学

13:30-14:00 韓国・中国の木造建築について学ぶ。

14:10-15:00 講義②ベトナムの木造建築について学ぶ。

15:10-16:50 隆徳殿1/4模型の組立を体験する。

17:00-17:30 アンケート記入およびディスカッション

17:30-17:45 未来博士号授与

17:45 終了・解散

・(実施の様子)

10:00-12:10まで開校式・研究成果の報告・日本の木造建築についての講義をB1060教室において行った。(写真1参照)

12:20-13:00まで学生会館でみんなと一緒に食事を楽しんだ。(写真2参照)

13:00-13:30まで研究施設見学を行った。(写真3参照)

13:30-15:00まで韓国・中国・ベトナムの木造建築についての講義をB1060教室で行った。(写真4参照)



写真1 開講式



写真2 食事風景



写真3 研究施設見学

15:10-16:50まで模型の組立をB1031ものづくり工房において行った。(写真5・6参照)



写真4 講義風景



写真5 模型組立

17:00-17:45までアンケート記入・ディスカッション・未来博士号授与をB1060教室で行った。(写真7参照)



写真6 記念撮影



写真7 未来博士号授与式

- ・(事務局との協力体制)  
本事業は事務局として教務・情報課が担当し、同課教務係3名と建設学科教員3名が協力して運営した。
- ・(広報活動)  
本事業のためのチラシを作成し、県内外の高校に教職員が訪問した。高校へ積極的にチラシを配布し、募集を行った。オープンキャンパスに参加した高校生にも案内をした。また、埼玉県教育指導課を通じて、全県の高校にメールを配信した。
- ・(安全配慮)  
本事業のプログラムに従った安全管理のポイントの整理と担当者間の情報共有、安全管理の役割分担、さらに模型組立時は高校生自身に危険箇所の周知と自身での安全確認方法の伝達を実施した。これに加えて傷害保険への加入を行った。
- ・(今後の発展性、課題)  
ものづくり大学のユニークな木造建築教育を多くの若年者に知ってもらうことによって危機的な伝統技術を救済する後継者を発掘することができる。そのためにも地道な広報活動が求められる。

【実施分担者】

佐々木 昌孝  
林 英昭

技能工芸学部・准教授  
技能工芸学部・講師

【実施協力者】                      5 名

【事務担当者】

岩間 由美

教務・情報課教務係長